

第7回 米代川大規模氾濫に関する減災対策協議会（令和3年8月3日開催）

■規約別表の修正、取組方針の改定について承認、令和2年度取組状況・令和3年度取組計画について報告した。

- 協議会委員11名の出席のもと、「米代川の減災に係る取組方針」改定案について審議していただき承認された。また、取組内容のフォローアップについて報告し承認された。
- 情報提供として、大雨特別警報切替後の臨時の洪水予報、洪水予報発表時の6時間先水位予測の提供、危機管理型水位計・簡易型河川管理カメラ、森吉山ダム下流（小又川）タイムライン、マイ・タイムライン講習会について説明した。

議事概要

1. 日時・実施状況

日時：令和3年8月3日（火）10:00～11:30
会場：WEB会議
出席者：能代市長
北秋田市市長
大館市長
秋田県総務部危機管理監（代理）
秋田県建設部長（代理）
秋田県北秋田地域振興局長
秋田県鹿角地域振興局長
東北運輸局鉄道部長
秋田内陸縦貫鉄道（株）代表取締役社長
秋田地方気象台長
能代河川国道事務所長
以上、11名

2. 議事

- (1) 議事
 - ①規約別表の修正について
 - ②取組方針の改定について
 - ③フォローアップ（令和2年度取組状況・令和3年度取組計画）
- (2) 情報提供
 - ①河川・防災に関する最近の話題
 - ②危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラについて
 - ③森吉山ダム下流（小又川）タイムラインについて
 - ④マイ・タイムライン講習会について



〔減災対策協議会の様子〕

主な発言内容

〔能代市長〕

・平成19年の洪水以降大きな災害が無い。森吉山ダムが完成し河道掘削や樹木伐採、無堤箇所を整備が進み、河川の流下能力が上がっていると感じており、川下でも災害が少なくなっていることに対し非常にありがたく思っている。
また、市民の安全安心を確保するためにソフト対策についても、いざという時に備えて取組を進めていきたい。

〔北秋田市市長〕

・北秋田市では、千年に一度の洪水に備えてハザードマップを今年度中に完成予定である。想定最大規模降雨による浸水想定では、中心市街地が浸水してしまう恐れがあり、避難等の課題や国で整備する防災拠点の活用について、関係機関と連携し取り組んでいきたい。
また、マイタイムライン講習会には防災担当者が参加し、それを市民の方々にフィードバックできるような体制を構築したい。

〔大館市長〕

・秋田県の取組報告で長木川の河道掘削、樹木伐採があったが、市街地では景観面での効果もあり、市民の評価が非常に高かった。まずは、景観という観点から、河川に対する興味や関心を持ってもらい、水防災意識の向上に繋げていければと考えている。